

# 第99期中間報告書

2022年4月1日～2022年9月30日

証券コード：8001



ひとりの商人、無数の使命



## 更なる飛躍に向けて

2022年度上期の当社連結純利益は、4,830億円となり、歴史的な資源高騰、市況価格上昇の影響を受けて史上最高益となった2021年度の5,006億円に次ぐ好業績となりました。順調な業績の進捗を踏まえ、10月4日に連結純利益の2022年度見通しを期初計画の7,000億円から8,000億円まで1,000億円上方修正し、2期連続となる8,000億円超の利益をコミットするとともに、追加の株主還元策を公表しました。1株当たり配当金を期初公表の130円下限から10円増額の140円下限とし、更に7年連続となる自己株式取得を実行し、これらの追加還元策により総還元性向は30%となります。今後も株主の皆様のご期待に応えるべく、株主還元を拡充してまいります。

地政学リスクの顕在化や世界経済成長の減速懸念等、経営環境はますます不透明になることが予想されます。どのような状況においても、より伊藤忠らしく「稼ぐ、削る、防ぐ」を徹底することにより、守りを固めることは言うまでもなく、更なる飛躍に向けて、攻めの施策についても役員・社員一同、確りと取組んでいく所存です。今後とも何卒変わらぬご支援を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役会長CEO

岡孫正広

# 通期見通しを上方修正し、 増配及び自己株式取得を実施

## 上期実績及び通期見通しについて

### ◇ 上期実績

上期の連結純利益は、4,830億円となり、期初の通期見通し7,000億円に対する進捗率は69%となりました。

一過性損益を除いた当社の「稼ぐ力」を示す基礎収益は、特に非資源分野での更なる伸長によりすべての半期を通じて過去最高となる約4,300億円となりました。

### ◇ 2022年度通期見通し

上期の好調な業績を踏まえ、10月4日に2022年度の連結純利益の通期見通しを期初の7,000億円から1,000億円、14%増益の8,000億円に上方修正しました。

機械、住生活、エネルギー・化学品等での収益の着実な積上げや資源価格の高止まりもあり、基礎収益の見通しは過去最高となる約7,700億円を見込んでいます。下期も物価や金利の上昇による景気後退等が懸念され、先行き不透明な経営環境が続くことが見込まれますが、「コミットメント経営」を堅持し、「マーケットイン」と「SDGs」を切り口に着実な利益成長を実現し、安定して8,000億円を稼ぐ収益ステージを目指し、全社一丸となって邁進してまいります。



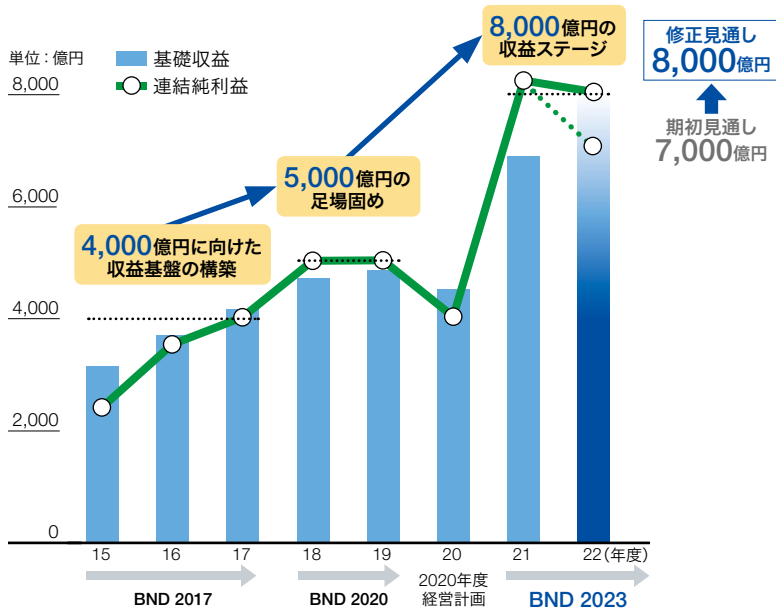
代表取締役社長COO

# 石井敬太



最新の決算情報はこちら

<https://www.itochu.co.jp/ja/ir/finance/review/index.html>



## ◇ 決算ハイライト

2022年度上期実績

連結純利益：4,830億円

基礎収益：約4,300億円\*

配当金：65円\*(中間配当)

2022年度通期見通し(修正後)

連結純利益：8,000億円

基礎収益：約7,700億円\*

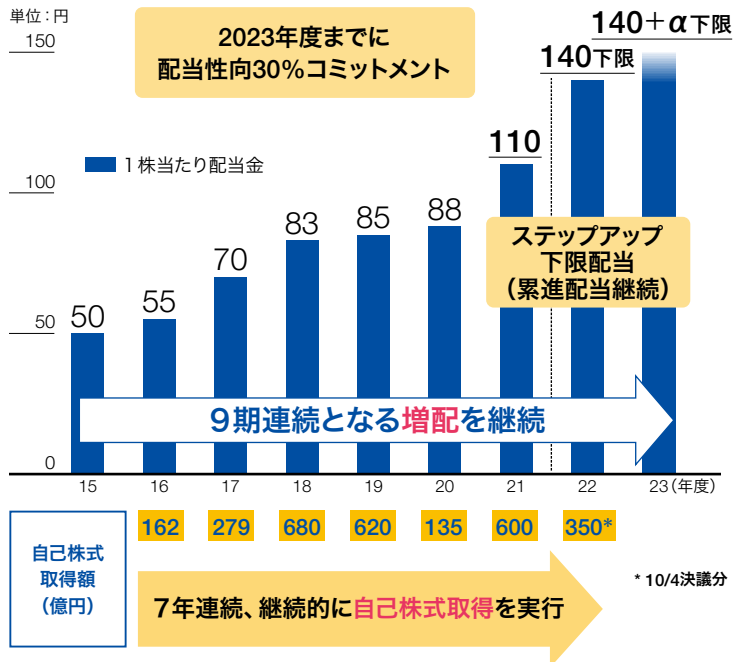
配当金：140円下限\*(年間配当)

\*過去最高

## 株主還元について

2022年度の1株当たりの配当金は、上期の好調な業績と通期見通しの上方修正を踏まえ、前期の110円から30円(期初公表130円から10円)増配し、140円を下限として実施します。2022年度の間配当金につきましては、期初公表通り65円となりました。また、市場環境とキャッシュアロケーションの状況を踏まえ、350億円の自己株式取得を決定しました。これらは、通期見通しの上方修正1,000億円の半分を株主還元(配当：+150億円、自己株式取得：+350億円)に配分するものです。

今後も景気変動耐性のある収益基盤に基づく利益成長を実現しつつ、着実に株主還元の充実を図ってまいります。



株主還元の詳細はこちら

<https://www.itochu.co.jp/ja/ir/shareholder/dividend/index.html>

## 日立建機(株)との取組みについて

2022年8月、当社は日本産業パートナーズ(株)と共同で設立する特別目的会社を通じて、日立建機(株)の総議決権数の26%にあたる株式を取得し、持分法適用会社化しました。日立建機(株)は、世界最大の北米市場で米国企業との合併を解消後、販売・サービスのネットワーク再構築に取り組んでいます。当社は、北米における協業第一弾として日立建機(株)、東京センチュリー(株)とともに北米建機ファイナンス・リース会社の設立を検討する等、北米事業の収益基盤の拡大を進めています。日立建機(株)への投資意義は従来型の商社の代理店機能ではなく、ビジネスパートナーとしてともに事業を拡大していくことにあり、将来的には北米における日立建機(株)との協業の成功事例を世界各地域に展開し、事業拡大を加速していきます。



詳細はこちら

[https://www.itochu.co.jp/ja/ir/doc/annual\\_report/online2022/market4.html](https://www.itochu.co.jp/ja/ir/doc/annual_report/online2022/market4.html)

## TOPIC 2

## 未来世代と一緒に考えるSDGs



ITOCHU SDGs STUDIO KIDS PARK  
東京都港区北青山2-3-1 Itochu Garden 2F  
営業時間：9：30～17：30  
(月曜定休 ※祝日の場合、翌営業日が休館)  
入場無料 / 事前オンライン予約制

2022年7月22日、未来を担う世代であるこどもたちが「遊び」を通してSDGsの考え方を体験できる、親子向け施設「ITOCHU SDGs STUDIO KIDS PARK」をオープンしました。当施設は、SDGsをテーマにした4つのオリジナルエリア等を揃え、遊びの中で見つかる自由なアイデアが、生活の中でも活かせるSDGsのアクションになることを目指します。SDGsの概念にある「誰一人取り残さない」という考えのもと入場無料とし、すべてのこどもたちにより良い機会を提供しています。

予約はこちら(事前オンライン予約制)

<https://www.itochu.co.jp/ja/kidspark/>



伊藤忠商事を  
より詳しく  
知りたい方は  
こちら



統合レポート



ESGレポート



Corporate  
Branding



皇の商人